

社会福祉法人 太陽学園機関紙

# たいよう



編集・発行

社会福祉法人 太陽学園  
福島市桜木町11-16 TEL024-534-5397

障害福祉サービス事業所 太陽学園(通所)  
福島市桜木町11-16 TEL024-534-5397

障害者支援施設 福島おおなみ学園(入所)  
福島市大波字水戸内向19-2 TEL024-588-1822

共同生活援助 伊達ホーム  
伊達市田町41-3

共同生活援助 ルーチェおおなみ  
福島市大波字水戸内向15-1

発行責任 社会福祉法人 太陽学園

## 「地域共生社会の実現」の積極性

太陽学園 園長 武田 万昌

全国知的障害者関係施設長会議は今年度は横浜のパシフィコ横浜で開催された。大分以前のことで、厚生省から障害福祉課の課長など来たことがなかった。その時は、課長が挨拶をした。珍しいと思いながら聞いていた。「能力のない園長は辞めてもらう。」元宮城県知事、元厚生省の障害福祉課課長の浅野史郎さんの第一声であった。グループホームをつくり障害者を自立させる。グループホームって何だ。皆キョトンとしていたのを覚えている。それで今年度の課長は源河真規子さんで行政説明があった。過激な挨拶は浅野さん以外聞いたことは無い。

現在のグループホームが自立生活援助とか日中サービス支援型共同生活援助など地域共生社会を実現するための一翼を担っていて浅野さんの一括が効いている。

源河課長は言う。第5期障害福祉計画(平成30年度～令和2年度)では各市町村又は各障害福祉圏域に少なくとも1カ所の整備予定との説明がありました。指定都市、全国1,718市町村で6%達成見込み。障害者の総数は、現在、963.5万人で人口の7.6%、知的障害は65歳以上の割合は少ないようですが、今後はどの障害者別でも医療技術の進歩等によってますます重度化・高齢化は進み、その対応が重要になってくるそうです。そのため新たに日中サービス支援型のグループホーム創設をしたとあります。

- ①自立生活援助…障害者支援施設やグループホーム等から一人暮らしに移行を希望するもの
- ②地域生活支援拠点等の機能強化…地域全体で支えていく仕組み
- ③相談支援体制の整備
- ④重度障害者等包括支援、重度訪問介護



- ⑤重度障害者に対する支援
  - ⑥グループホーム
  - ⑦就労支援
  - ⑧農福連携の広がり
- の推進等話されました。

県、市町村の公的支援の「縦割り」だけでなく、地域住民の主体的な支え合い、地域の資源を活かし、暮らしと地域社会に豊かさを生み出すという。大都市などで実施した成功例を基にしてローカル手法は駄目というようなどころもある。

当法人は社会福祉充実計画と関連して、日中サービス支援型グループホーム(定員20名)を整備し、遅延しましたが、令和元年8月より開始しました。今年は10名からの出発です。

就労の向上を中心とした、知的障害者の働く場所づくり、居場所づくりを目指してきましたが、制度改革が進めば進むほど知的障害者が安心できる時は無いような気がする。

65歳になれば介護保険適用と言う課題。成年後見人が社会福祉法人でできる方向を探っていると聞きます。意思決定にしても、自己決定を支援されることより、むしろ決断自体を他人に任せることを好む文化にあると言われる我が国の、その人が納得して決断する支援は難しく感じる。

# 太陽学園

## 一泊旅行

H30.9/11(火)~12(水)

千葉方面(海ほたる・マザー牧場・鴨川シーワールド)に行ってきました。マザー牧場では小動物とのふれあいができました。ふわふわでやわらかくて、みなさん「かわいい〜」と笑顔。一方シーワールドでは、大迫力のシャチのジャンプで、あわやズブ濡れ!状態。しかめっ面…いえいえ、歓喜の大絶叫でした。

一泊旅行の一コマ。海ほたるは2回目です。ここは風が強いですね



## 芋煮会

H30.10/20(土)

メニューは焼肉・焼きそば・芋煮・おにぎり・ジュースでした。焼肉は一昨年、福島あづまライオンズクラブさん30周年の特別メニューだったのですが、まさか今年も!汗水流して炭火に向かうライオンズクラブのみなさんに負けないように、みんなで野菜を切って、栄養満点の絶品芋煮を完成させました。やっぱり自分たちで作った芋煮は最高にうまいぞな。

具だくさんの芋煮ができました。とってもおいしそう!

## クリスマス会

H30.12/20(木)

このゲームはいつから恒例になったのでしょうか。ヤクルトを乗せた椅子の周りを曲に合わせて歩きます。曲が止まったらヤクルトを取るだけ。ズバリ“ヤクルト取りゲーム”。曲が止まっていないのにフェイントをかけて相手をお手つきさせようとする強者も。ゲームもプレゼント交換も会食も全てが楽しく、食堂からはみなさんの笑い声や声援が響いてました。



曲が止まり、鬼の形相(?)でヤクルトを取り合う殿方3人。



## 福島県障がい者スポーツ大会

R1.5/19(日)

田村市陸上競技場で、第57回フライングディスク大会が行われました。当日は投げたディスクが的をくぐることなく、投てき者の元に戻ってくるような強風が吹いていました。その為なかなか的に入らずとても難しく苦しい戦いになりました。しかし、応援スタッフの方々の心温まる声掛けや拍手、笑顔などいただき、とても嬉しく幸せな気持ちにありました。

風に負けるな!僕のフライングディスク、えい!!!

## 運動会

R1.5/25(土)

令和初の運動会。今年は東部体育館で開催されました。競技場ほど広くなく、それでもスムーズに動ける体育館はとてもよかったです。そして毎年ボランティアに来て下さる、曙プレーキ(株)労働組合のみなさんには競技の準備・片付けの他、利用者さんの応援をしていただきました。今年はとても暑い5月だったので、徐々に気温が上昇し熱中症等も懸念されましたが、とても楽しく、みなさんも達成感に満ち溢れており、無事に過ごす事ができました。



初めてのことです。太陽・おおなみ利用者さんがペアでゴールするのは。

## 福島おおなみ学園

### 研修旅行

平成30年度は、利用者さんの体力や身体状況を考慮し3回に分けて実施しました。お弁当を食べながら乗った阿武隈ライン下り、秋の自然を満喫できた会津鉄道の旅、晴天に恵まれきれいな紅葉を見ながらの食事会…。いつも以上に利用者さんの素敵な笑顔を見ることができました。行った場所は違えど、また一つ楽しい思い出が増えました。



### 合同学園祭

H30.10/6(土)

秋晴れの下、10月6日(土)に開催された太陽学園・福島おおなみ学園合同学園祭は、たくさんのお客様を迎えスタートしました。ステージでは、仙臺笑雀による踊り、バザー会場では、たくさんの品物が出品され大盛況となりました。毎年恒例の大抽選会では、利用者の皆様、保護者の皆様、地域の皆様ともに大盛り上がりとなり楽しい一日となりました。

### 新年会

H31.1/5(土)

平成31年1月5日(土)に新年会を行いました。保護者の皆様にも参加して頂き、今年は、利用者さんの阿部弘明さん、渡辺和子さんが還暦を迎えられ、皆さんでお祝いをしました。余興では、今年流行したものを紹介し、かくし芸をしてたいへん盛り上がりました。新年会恒例の抽選会では、皆さん何が当たるのかを楽しみに参加されていました。



### 合同反省会

H31.3/15(金)

飯坂温泉ホテル聚楽にて、平成30年度の合同反省会が行われました。太陽学園・福島おおなみ学園の利用者の皆さん、保護者の方々など、たくさんの方に参加して頂きました。2日間の楽しい企画、おいしいお料理を食べたり、カラオケをしたり、温泉を満喫したりと、楽しい時間を過ごした皆さんの笑顔!思い出いっぱい合同反省会でした。

### 生活介護

R1.7/16(火)

学園では生活介護の一環として、水耕栽培で野菜を育てています。これまでにレタスや春菊などを育て、サンドイッチやチヂミ、スムージーなどにして利用者さんに食べて頂きました。「芽が出た～」と思ったらあっという間に成長するので、その成長スピードに感動してしまいます。もちろん味もバッチリです!次は何を育てようかな～♪



# 平成30年度 事業報告

## 社会福祉法人太陽学園



### 1.施設の運営管理

施設利用者の基本的な権利を尊重し、施設環境の保全につとめ、施設利用者が生活の場として快適な日々を過ごせるよう努めた。

更に、社会参加の向上を図るため、福島市中央学習センター・福島市立福島養護学校主催する在宅知的障害者の社会参加の育成事業のしゃくなげ青年講座へ参加し成果をあげました。また、施設整備面ではグループホーム・ルーチェおおなみの整備では4月開園予定でしたが、遅延して8月の予定です。

#### 拠点区分

- 1 本部 太陽学園内
- 2 太陽学園
  - 指定障害福祉サービス事業所太陽学園
    - ①生活介護事業所 定員 20名
    - ②就労継続支援B型事業所 定員 30名
    - ③特定相談支援事業所太陽学園
    - ④日中一時支援事業所太陽学園
  - 福島市、国見町 生活介護 定員 5名
- 3 福島おおなみ学園
  - 指定障害者支援施設福島おおなみ学園
    - ①施設入所支援 定員 50名
    - ②生活介護事業所 定員 30名
    - ③就労継続支援B型事業所 定員 20名
  - 指定障害福祉サービス事業
    - ④短期入所事業所福島おおなみ学園 定員 4名
    - ⑤指定共同生活援助事業所 伊達ホーム 定員 5名

#### 消火避難訓練及び防災設備の訓練等

- ① 月1回火災、地震等を想定して消火・避難訓練を実施した。
- ② 年1回消防設備法定点検を実施した。
- ③ 福島消防署による防火設備等の立入検査並びに防火管理体制検証を受けた。

### 2.利用者の処遇

施設利用者及び地域居住者等の障害の特性に照らして、個々に適した生活支援、職業指導、健康管理及び必要な機能訓練を行うほか、自立支援の充実と処遇向上のために努めた。

#### (1)処遇方法の対応

年度当初において、施設利用者個々の態様に応じた支援計画に基づき支援の実施。また、本人活動の会を基に、安心して施設又は地域生活を送るために、相談し社会性を高める。

#### 太陽学園

- ①生活介護 定員20名(現員18名) 211人利用
- ②就労継続支援B型 定員30名(現員29名) 345人利用
- ③特定相談支援事業所(特定・知的障害)
- ④日中一時支援 定員5人 福島市、国見町

#### 福島おおなみ学園

- ①生活介護30名(現員28名)
- ②就労継続支援B型20名(現員17名)
- ③施設入所支援50名(現員45名)
- ④短期入所 定員4名
- ⑤伊達ホーム 定員5名、(現員4名)

#### (2)各種訓練の実施

- ① 自主通勤により施設利用者の社会適応性の向上促進。
- ② 社会見学

太陽学園 9月11～12日 千葉方面鴨川シーワールド  
12月22日 劇団四季「王様の耳はロバの耳」

福島おおなみ学園 9月 8日 宮城県丸森町阿武隈川下り  
12月29日 会津・那須方面

- ③ 家族との交流を深めるため、家庭実習訓練を実施

ゴールデンウィーク 4月29.30日～5月3.4.5.6日

太陽は暦通り

夏季 8月11日～15日

冬季 12月29日～1月3日

- ④ 音楽訓練等の発表を実施した。

太陽学園 ハンドベル東北大会(山形市) 7月1日  
ハンドベルコンサート福島(バルセイイざか)12月9日  
アンテナショップハンドベル福島銀行12月14日

おおなみ学園 ハンドベル東北大会(山形市) 7月1日  
ハンドベルコンサート福島(バルセイイざか)12月9日

- ⑤地域との交流 自主製品の販売等

### 3.各種行事・催し物・業務の実施

- (1) 毎月実施したもの 誕生会 避難訓練
- (2) 随時実施したもの 自主製品出向販売、バーゲンセール、外注品運搬
- (3) 季節ごとに実施したもの

節句、芋煮会、クリスマス会、新年会、節分、雛祭り

- (4) 第57回福島県障がい者総合体育大会

5月20日 田村市

第43回福島市障害者スポーツ大会

10月13日 信夫ヶ丘競技場

第30回福島市障がい者週間記念事業

ふれあいのつどい 12月1～2日

第43回福島市福祉作品展 12月1～3日

福島市アオウゼ

しゃくなげ青年講座(福島市中央学習センター)への参加 希望者

### 4.健康管理

- ① 結核検診、成人病検診、年2回(おおなみ学園)
- ② 体重測定 毎月
- ③ 嘱託医の出務 太陽学園年3回、福島おおなみ学園 毎月2回出務して、施設利用者の健康管理及び機能回復に当たった。

### 5.給食

- (1) 嗜好調査を基に献立に反映させた。
- (2) 毎月1回給食委員会を実施し、施設利用者の要望等を取り入れ献立を作成。
- (3) 施設利用者の要望により、調理実習も取り入れ選択メニューを実施した。

### 6.就労継続支援B型事業所 授産活動について

#### 工賃配分実績

太陽学園	授産活動年間事業収入	14,276,454円
	工賃支払い	5,796,454円
	延べ人数	345人
	平均月額	16,802円
福島おおなみ学園	年間事業収入	8,180,486円
	工賃支払い	4,074,000円
	延べ人数	235人
	平均月額	17,336円
7.生活介護事業所 授産活動について		
太陽学園	授産活動年間事業収入	878,974円
	工賃支払い	804,400円
	延べ人数	211人
	平均月額	3,812円
福島おおなみ学園	授産活動年間事業収入	919,310円
	工賃支払い	869,680円
	延べ人数	319人
	平均月額	2,726円

### 8.職員の資質の向上について

施設利用者のニーズの多様化に対処するため下記の通り職員・利用者の研修に努めた。

	太陽学園		おおなみ学園	
	回数	人数	回数	人数
法人関係の研修会 苦情委員会	2	2	2	2
県及び研修センター主催研修会	8	8	8	8
研修団体(全国・東北)主催研修会	3	4	4	4
その他各種団体主催研修会	30	30	15	15
特定(知的)相談支援事業	52	52		
ハンドベル発表・奉仕	職員	3	10	4
	利用者	30	30	
地域学習センター等支援	職員	13	15	
年間15回	利用者	13	120	
自主製品販売・委託品搬入出	平日	300	平日	300

### 9.ひまわり祭(太陽学園) 6月20日

太陽学園・おおなみ学園 合同学園祭開催 10月6日

### 10.関係団体との連携

- (1) 関係機関団体に対しては連携を密にすると共に関連他の施設との連携に努めた。
- (2) ボランティアの積極的に受け入れた。

### 11.役員会の実施

理事会  
評議員会  
監事会  
の開催について(別表1のとおり)省略

### 12.一般事業実施報告(別表2のとおり)省略



貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額	
退職給付引当資産	県社協		第二種社会福祉事業である、障がい福祉サービス事業に使用している			7,140,752	
	〃		第一種社会福祉事業である、障害者支援施設に使用している			7,131,778	
小計							14,272,530
人件費積立資産	東邦銀行 東福島支店		第二種社会福祉事業である、障がい福祉サービス事業に使用している			20,941,000	
	〃		第一種社会福祉事業である、障害者支援施設に使用している			44,902,833	
小計							65,843,833
修繕積立資産	東邦銀行 東福島支店		第二種社会福祉事業である、障がい福祉サービス事業に使用している			7,210,675	
	〃		第一種社会福祉事業である、障害者支援施設に使用している			10,780,000	
小計							17,990,675
備品等購入積立資産	東邦銀行 東福島支店		第二種社会福祉事業である、障がい福祉サービス事業に使用している			4,000,880	
	〃		第一種社会福祉事業である、障害者支援施設に使用している			12,912,000	
小計							16,912,880
建設積立資産	東邦銀行 東福島支店		将来における備品等購入のために積み立てている積立預金			13,000,000	
退職給付積立資産	東邦銀行 東福島支店		第二種社会福祉事業である、障がい福祉サービス事業に使用している			6,848,208	
その他の積立資産	東邦銀行 東福島支店		将来における建物建設等のために積み立てている積立預金			36,001,641	
	〃		第二種社会福祉事業である、障がい福祉サービス事業に使用している			65,541,404	
〃	〃		第一種社会福祉事業である、障害者支援施設に使用している			81,623,303	
小計							183,166,348
差入保証金	セコム機器警備に伴うレンタル		第一種社会福祉事業である、障害者支援施設に使用している			50,000	
長期前払費用	(太陽学園拠点) 可搬型階段昇降機 らく段		第二種社会福祉事業である、障がい福祉サービス事業に使用している			103,356	
	セコム機器警備費用		第一種社会福祉事業である、障害者支援施設に使用している			64,125	
小計							167,481
その他の固定資産合計				360,072,244	215,933,612	475,840,587	
固定資産合計				819,259,119	463,505,347	726,780,639	
資産合計				819,259,119	463,505,347	1,126,280,420	
<b>II 負債の部</b>							
<b>1 流動負債</b>							
事業未払金	3月分水道光熱費等					5,376,231	
1年以内返済予定リース債務	福島おおなみ学園					790,944	
職員預り金	健康保険料等					868,422	
前受金	伊達ホーム					256,000	
賞与引当金	太陽学園・福島おおなみ学園					2,058,384	
未払消費税等	太陽学園・福島おおなみ学園					566,300	
流動負債合計				0	0	9,916,281	
<b>2 固定負債</b>							
リース債務	福島おおなみ学園					790,944	
退職給付引当金	県社協					21,120,738	
長期未払金	福島おおなみ学園					607,500	
固定負債合計				0	0	22,519,182	
負債合計				0	0	32,435,463	
差引純資産				819,259,119	463,505,347	1,093,844,957	

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・使用目的等欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産及び各負債の使用目的を簡潔に記載すること。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意すること。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当しえるものと、該当しえないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、合計欄を設けて、貸借対照表価額と一致させるものとする。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載すること。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）についてのみ「減価償却累計額」欄を記載すること。
- ・車両運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車両ナンバーは任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。
- ・負債については、使用目的等の欄の記載を要しない。

社会福祉法人太陽学園役員構成



理事

- 理事長 武田 万 昌
- 理 事 鈴木 君子
- 理 事 武田 秀 則
- 理 事 鳥 貫 忠 勝
- 理 事 佐 藤 一 夫
- 理 事 森 田 久 弥

監事

- 監 事 菊 嶋 健 一
- 監 事 長 沢 美智子

評議員

- 評議員 野 地 信 一
- 評議員 佐 川 祐 也

- 評議員 大 石 康 弘
- 評議員 新 谷 義 隆
- 評議員 佐 藤 初 子
- 評議員 二階堂 俊 美
- 評議員 佐久間 晃 子

評議員選任・解任選考委員

- 監 事 菊 嶋 健 一
- 外部委員 加 藤 賢 一
- 事務局員 後 藤 さおり

第三者委員

- 監 事 菊 嶋 健 一
- 評議員 大 石 康 弘
- 監 事 長 沢 美智子

社会福祉事業区分 事業活動内訳表 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

単位:円

勘定科目		法人本部	太陽学園	福島おおなみ学園	合計
サービス活動増減の部	収益				
	就労支援事業収益		15,105,428	9,099,796	24,205,224
	障害福祉サービス等事業収益		70,314,290	152,946,357	223,260,647
	経常経費寄附金収益	2,302,700			2,302,700
	サービス活動収益計(1)	2,302,700	85,419,718	162,046,153	249,768,571
	費用				
	人件費		51,008,961	69,038,646	120,047,607
	事業費	239,000	13,959,601	37,933,563	52,132,164
	事務費	689,578	6,025,530	15,852,984	22,568,092
	就労支援事業費用		14,580,076	6,958,158	21,538,234
減価償却費		3,042,650	21,868,503	24,911,153	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 1,246,583	△ 4,941,458	△ 6,188,041	
サービス活動費用計(2)	928,578	87,370,235	146,710,396	235,009,209	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	1,374,122	△ 1,950,517	15,335,757	14,759,362	
サービス活動外増減の部	収益				
	受取利息配当金収益	656	2,628	3,768	7,052
	その他のサービス活動外収益		875,700	1,534,999	2,410,699
	サービス活動外収益計(4)	656	878,328	1,538,767	2,417,751
	費用				
	投資有価証券売却損		2,000	3,000	5,000
その他のサービス活動外費用			20,670	20,670	
サービス活動外費用計(5)		2,000	23,670	25,670	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	656	876,328	1,515,097	2,392,081	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	1,374,778	△ 1,074,189	16,850,854	17,151,443	
特別増減の部	収益				
	施設整備等補助金収益			3,000,000	3,000,000
	施設整備等寄附金収益	2,500,000			2,500,000
	拠点区分間繰入金収益	576,000			576,000
	特別収益計(8)	3,076,000		3,000,000	6,076,000
	費用				
	固定資産売却損・処分損			7,561	7,561
国庫補助金等特別積立金積立額			3,000,000	3,000,000	
拠点区分間繰入金費用			576,000	576,000	
特別費用計(9)			3,583,561	3,583,561	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	3,076,000		△ 583,561	2,492,439	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	4,450,778	△ 1,074,189	16,267,293	19,643,882	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	53,138,210	190,231,100	472,230,892	715,600,202
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	57,588,988	189,156,911	488,498,185	735,244,084
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)		56,000	84,000	140,000
	その他の積立金積立額(16)		219	207	426
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	57,588,988	189,212,692	488,581,978	735,383,658

令和元年度社会福祉法人太陽学園 事業計画

みんなちがって、みんないい

- 第1. 事業の目的及び方針
- 第2. 施設の運営管理
- 第3. 地域の在宅要介護者等に対するサービス
- 第4. 居宅支援サービスの運営管理
- 第5. 法人の社会福祉法施行に伴う対応
- 第6. 利用者へのサービス提供
- 第7. 就労継続支援等
- 第8. 生活支援
- 第9. 健康管理
- 第10. 給食について
- 第11. 事故防止
- 第12. 職員の資質の向上
- 第13. 関係機関、団体との連携

令和元年度～令和5年度 社会福祉法人太陽学園  
 社会福祉充実計画の社会福祉充実残額の用途に関する検討も含めて、事業の種別は社会福祉事業  
 事業名 太陽学園旧園舎の建物整備  
 令和元年度事業  
 ○施設整備事業…太陽学園旧園舎の建物整備  
 建替えにするか耐震構造の補強かの検討

### 高校教諭初任者研修 2018.11.7

県北の各高校から体験実習に来られた高校の先生方。各作業班で利用者の方々と交流を深めました。パンの配達にも参加していただいたり、最後にはDA PUMPのUSAを披露してくれました。大喝采のアンコールではバク転もしてくれました!



### 避難訓練 2019.7.24

消防士の助言をしっかりと聞いて実践しました。訓練では消火板に向かって消火活動を行いました。実際の炎を目にしたときは、足元を消火器で掃くように消火活動を行うそうです。



### 令和1年度 しゃくなげ青年講座 年間学習計画

回	開催日	曜日	学習内容	会場
1	5/12	日	開会式・オリエンテーション	中央学習センター
2	6/9	日	屋内レクリエーション	市立福島養護学校
3	6/30	日	まちの施設を利用しよう① ～カラオケ～	歌うんだ村福島
4	7/28	日	☆2020オリパラ応援企画 ☆ポッチャにチャレンジ!	市立福島養護学校
5	8/18	日	福祉作品展に向けて作品を作ろう	中央学習センター
6	9/8	日	ボウリング大会	からしまボウル福島
7	10/6	日	中央地区文化祭に参加しよう	中央学習センター
8	10/27	日	まちの施設を利用しよう② ～プラネタリウム鑑賞～	こむこむ館
9	11/24	日	秋のくだものを食べよう ～りんご狩り～	栃窪果樹園(宮代字作田内)
10	12/22	日	クリスマスパーティーをしよう	中央学習センター
11	1/19	日	音楽を楽しもう	中央学習センター
12	2/16	日	中央学習センターのそうじをしよう	中央学習センター
13	3/8	日	閉講式 一年間を振り返ろう	中央学習センター

### 法人苦情解決担当者一覧

太陽学園	苦情解決責任者	園長 武田 万昌
	苦情解決担当者	森田 久弥
福島 おおなみ学園	苦情解決責任者	園長 武田 秀則
	苦情解決担当者	齋藤 慎
伊達ホーム	苦情解決責任者	園長 武田 秀則
	苦情解決担当者	高野 憲一
法人 第三者委員	菊嶋健一・大石康弘・長沢美智子	

事業所内の苦情について  
法人3事業所内におきまして苦情がありましたら、各苦情担当委員(又は身近な職員)までご相談をお願いします。なお、各事業所内に掲示、苦情箱を設置しておりますので、そちらの方も気軽にご利用して下さい。